



日明浄化センター —昭和45年完成—

(所在地) 〒803-0801 北九州市小倉北区西港町96-3
Tel.(093)581-5661
(面積) 114,175㎡

● あらまし

日明浄化センターは、合流式として、昭和45年4月に運転を開始しました。現在の処理能力は263,000㎡/日で、小倉北区・戸畑区と小倉南区・八幡東区の一部の下水を活性汚泥法により処理し洞海湾湾口部に放流しています。

● 主要設備仕様

施設	設備	仕様・構造	数
場内ポンプ場	汚水ポンプ	φ500×27m ³ /分×13m×M-90kW	2台
		φ700×54m ³ /分×13m×M-160kW	2台
水処理施設	最初沈殿池	φ1,000×143m ³ /分×13m×(E-434×M-420kW)	1台
		φ1,350×260m ³ /分×13m×M-800kW	3台
		(標準槽) 2,381m ³ (W16×L48×H3.1) (二階槽) 4,759m ³ (W14.6×L(54.1+46.2)×H3.25) (二階槽) 2,379m ³ (W7.3×L(54.1+46.2)×H3.25)	4池 4池 1池
	反応タンク	(標準槽) 5,061m ³ (W7.4×L76×H4.5×2水路)	4池
		(深槽) 15,200m ³ (W10×L76×H10×2水路)	3池
	主ブローワ	12,600m ³ /時×250kW	6台
		(標準槽) 2,970m ³ (W18×L50×H3.35) (二階槽) 5,060m ³ (W16.4×L38.6×H3.35) (W16.4×L49.8×H3.6)	4池 1池
	最終沈殿池	(二階槽) 3,730m ³ (W12.3×L38.6×H3.35) (W12.3×L49.8×H3.6)	1池
		8,790m ³ (W18.6×L55.8×H3.44) (W18.6×L59.1×H3.24)	2池
	消毒槽	1,690m ³	1池
2,529m ³		1池	
汚泥処理施設	濃縮設備	(重力式) 1,300m ³	2基
		(ベルト式) 100m ³ /時	2基
	消化槽	3,350m ³	6槽
		8,450m ³	2槽
	脱水機	(遠心式) 20m ³ /時 (遠心式) 30m ³ /時	1台 2台
ガスタンク(乾式)	φ15.5×H16.8 2,000m ³	2基	
日明汚泥燃料化センター	燃料化方式 造粒乾燥方式(ジェイコンビ) 処理能力 70t/日 燃料化物生成量 20t/日	1基	

● ポンプ場概要

ポンプ場	分流/合流	汚水	雨水	1分毎の排水能力(立方メートル)		運転開始	滞水池/調節池 (立方メートル)
				汚水	雨水		
浅野町	合流	○	○	79.5	820	昭和48年10月	2,800
港町	合流	○	○	336	1,155	昭和46年4月	
大手町	合流	○	○	245.1	690	昭和45年4月	
神嶽	合流	○	○	84.5	1,309	昭和51年8月	
城野	分流	○	○	133		昭和54年10月	
南小倉	分流	○	○	63.5		昭和48年4月	
戸畑	合流	○	○	187	1,866	平成18年6月	

■ ビジターセンター(日明浄化センター管理棟)

老朽化した日明浄化センター管理棟の建替えに併せ、水ビジネスの国際戦略拠点となるビジターセンターが、平成27年4月に完成しました。ビジターセンターには、地元企業の技術・製品の展示、国際研修やセミナー開催等の機能を設け、本市の水ビジネスで積極的に活用します。



ビジターセンター



ジオラマシアター



皇后崎浄化センター —昭和38年完成—

(所在地) 〒807-0813 北九州市八幡西区夕原町1-1
Tel.(093)631-4635
(面積) 145,323㎡

● あらまし

皇后崎浄化センターは、合流式(一部分流)として、昭和38年7月に運転を開始しました。現在の処理能力は177,000㎡/日で、八幡西区・八幡東区と若松区・戸畑区の一部の下水を活性汚泥法により処理し割子川及び洞海湾に放流しています。

● 主要設備仕様

施設	設備	仕様・構造	数
場内ポンプ場(第一)	汚水ポンプ	φ200×7.4m ³ /分×10m×M-21kW	3台
		φ350×17m ³ /分×10m×M-48kW	4台
場内ポンプ場(第二)	雨水ポンプ	φ800×72m ³ /分×3.2m×M-80kW	2台
		φ1,200×195m ³ /分×3.2m×E-155kW	3台
場内ポンプ場(第三)	汚水ポンプ	φ500×33m ³ /分×20m×M-160kW	3台
		雨水ポンプ	φ800×80m ³ /分×12.6m×E-257kW φ800×80m ³ /分×12.6m×E-257kW, M-240kW
水処理施設(第一)	最初沈殿池	3,180m ³ (φ35×H3.8)	4池
	汚水ポンプ	φ500×35m ³ /分×6.7m×M-60kW	3台
	反応タンク	7,680m ³ (W6×L40×H4×8水路)	2池
	主ブローワ	6,000m ³ /時×170kW	2台
	最終沈殿池	1,750m ³ (W13.2×L38×H3.5)	6池
	消毒槽	883m ³	1池
	水処理施設(第二)	最初沈殿池	2,900m ³ (W14.5×L50×H4)
反応タンク	5,872m ³ (W7×L56×H5.1×3水路)	5池	
水処理施設(第三)	主ブローワ	6,000m ³ /時×180kW 12,000m ³ /時×350kW	1台 2台
	最終沈殿池	2,657m ³ (W14.5×L53.9×H3.4)	7池
	消毒槽	719m ³	3池
汚泥処理施設	濃縮設備	(重力式) 666m ³	2基
	脱水機	(遠心式) 50m ³ /時	3台

● ポンプ場概要

ポンプ場	分流/合流	汚水	雨水	1分毎の排水能力(立方メートル)		運転開始	滞水池/調節池 (立方メートル)
				汚水	雨水		
藤田	合流	○	○	221	1,410	昭和38年4月	2,800
則松	分流(一部合流)	○	○	102	1,509	昭和50年6月	
楠橋	分流	○	○	58.4	2,170	昭和58年7月	
折尾	分流(一部合流)	○	○	51.9	248.6	昭和50年6月	
本城	分流	○	○	68.8	240.2	昭和50年10月	
東中島	分流(一部合流)	○	○	48.3	1,368	昭和51年8月	
金山川	分流	○	○		604	平成13年3月	

<主な効果>

◎市民の快適・安全な暮らしの確保

浄化センターの指令塔である管理棟の耐震性能が向上し、災害時にも市民の快適・安全な暮らしを確保します。

◎下水道の啓発及び環境学習の推進

次世代を担う子どもたちをはじめ、広く市民に下水道を通じた環境学習の場を提供します。

◎ビジネスチャンス・国際貢献の拡大

ビジターセンターを中心に、人や技術・ノウハウ、最新情報等の往来、集積がより一層加速し、地元企業のビジネスチャンスや国際貢献の機会が拡大します。